

令和6年度 江戸川区立松江小学校 人権教育年間指導計画（第5学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自己及び他者の個性の理解と尊重 学級目標に人権教育のねらいを位置づける				望ましい人間関係の確立・コミュニケーション能力 児童相互の関係を把握（通年）				自覚と責任			
各教科・読書科	お互いの考えの良さを認め合っていく活動をすすめる。（国語） 生き物を調べる活動を通して、生命を尊重する態度を育てる。（理科）				社会に見られる課題を把握して、解決に向けての関わり方を考える。（社会科） ゲーム学習を通して、互いのよさを認め合う。（体育）							
特別の教科 道徳	「たからもの」 《個性の伸長》	「ほのぼのテスト」 《親切・思いやり》	「森の絵」 《よりよい学校生活》		「オオカミから教えられたこと」 《生命の尊さ》		「だれかをきずつける機械ではない」 《公正公平》		「悲願の金メダル」 《感謝》			
総合的な学習の時間	【1年生を迎える会】1年生に優しく学校生活を送ろうという気持ちをもたせる。				「かがやきエコプロジェクト」環境学習を通して、自然の大切さや環境問題の重要性について学ぶ。（通年）				【卒業式】最高学年になるという自覚をもつ。			
特別活動	【ペア学級】異学年交流を通して、下級生を思いやり、仲良く活動する。		【ふれあい集会】お客さんを楽しませるお店の企画・準備・運営をする。		【運動会】特別支援学級の児童と協力して表現・競技を行う。		「力をあわせて」（通年） 学級会や係活動を行う。		【6年生を送る会】お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。			
その他	【挨拶運動】（通年）挨拶を通して、温かい人間関係の基礎を養う。				【個人面談・保護者会・学校公開】家庭との連携をし、児童一人一人の実態を把握する。							
	【鼓笛・委員会活動】高学年として学校のために働く。		【ふれあい月間】いじめ防止		【ふれあい月間】不登校対策		【人権週間】		【ユニセフ募金】世界の子供に関心をもつ。			

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。